

平成29年度

事業名	教育相談事業	区分	一般会計
		款	教育費
		項	教育総務費
所属(部) (課)	学校教育部 教育政策室	目	教育委員会総務費
		総計	2-2-2

予算額(千円)		予算内訳(千円)		
事業費	一般財源	938	報償金	858
	国補助		消耗品費	4
	府補助		通信運搬費(費用)	76
	市債			
	その他			
	合計	938		

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	いじめや不登校等の学校に関することや子育ての悩み等についての相談を受け、子どもが健やかに育つようアドバイスを行う	各小学校への出張教育相談をはじめとして、教育相談事業の充実を図る	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	通常相談 ・相談場所 大東市立キッズプラザ 2階 ・相談日時 平日の日中 4時間(週3回) ・相談方法 来室、電話、メール 出張相談 ・大東市内各小学校にて	通常相談 年間を通して、左記の要領での相談業務 出張相談 2学期以降に大東市内各小学校での相談業務	

内容		目標	
指標		総計	H32
		KPI	H32
		独自	
	人権行政の視点	学校以外にも相談機関が日常的に開設されることは、子どもの学ぶ権利を守るためにも重要である	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的 ・文化的・先進的な街づくりへの貢献 ・市のセーフティネットとしての役割	より丁寧な相談支援体制の構築	

平成29年度

事業名	英語教育推進事業	区分	一般会計
		款	教育費
		項	教育総務費
所属(部) (課)	学校教育部 教育政策室	目	教育委員会総務費
		総計	2-2-1

事業費		予算額(千円)	予算内訳(千円)
一般財源	720	報償費	20
国補助		消耗品費	305
府補助		教材購入費	466
市債		その他負担金	700
その他	771		
合計	1,491		

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	社会のグローバル化に対応し、H32年度から実施される小学校英語の教科化に向け、小学校における英語教育の充実を図り、中学校での英語力を強化する	・英語教育推進研修を実施し、中学校における英語教育の充実を図るとともに、モデル校において小学校英語教材「DREAM」を活用し、小学校英語の推進を図る。また、英検受検率の向上を図る	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	<ul style="list-style-type: none"> ・「DREAM」を市内4小学校で実施(H29) ・英検3級受験者への補助(H29～) ・公立幼稚園における英語体験(H29～) ・「DREAM」を市内8小学校で実施(H30) ・「DREAM」を市内全小学校で実施(H31) ・小学校英語教科化(H32) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「DREAM」活用研修 ※年3回予定 ・「DREAM」のモデル実施(4小学校) ・英語教育推進研修 ※年5回予定 ・Daito English Trial(大東市版英検)の実施 ・英検3級にチャレンジ(10月) ・「Can-doリスト」に基づいた授業改善 	

内容		目標	
指標		総計	H32
	中学3年時の英検3級の取得者率	KPI	H32 20%
	「DREAM」活用校における児童の英語に対する肯定的回答の割合	独自	H29 70%
人権行政の視点		子どもたちの国際理解教育を深める機会の拡充と、コミュニケーション能力の向上	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	<ul style="list-style-type: none"> ・英語教育の機会の拡充 ・英語教育の内容の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒の英語でのコミュニケーション力を育成する ・中学校での英検取得率を向上させる

平成29年度

事業名	不登校対策事業	区分	一般会計
		款	教育費
		項	教育総務費
所属(部) (課)	学校教育部 教育政策室	目	教育委員会総務費
		総計	2-2-2

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
事業費	一般財源	9,192	報償金	8,422	
	国補助		消耗品費	10	
	府補助		通信運搬費(費用)	216	
	市債		手数料(費用)	1	
	その他		その他保険料	75	
	合計	9,192	事務業務委託料	465	
			使用料及び賃貸料	3	

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	大東市立小・中学校における長欠・不登校児童生徒への支援、また未然防止の対応を推進する	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校指導員の学校派遣 ・大東市適応指導教室「ボイス」の運営 	
	長欠・不登校児童生徒数の減少	<ul style="list-style-type: none"> ・適応指導教室「ボイス」の運営(週4日) ・情報交流会や訪問指導等も実施 ・学校への不登校指導員の派遣 ・不登校指導員交流会の実施 	

内容		目標	
指標	公立小中学校の不登校児童・生徒数(千人率)小学校	総計	H32 2.0以下
	公立小中学校の不登校児童・生徒数(千人率)中学校	総計	H32 25.0以下
		独自	
人権行政の視点		長欠・不登校児童生徒へのはたらきかけは、一人ひとりの学習権の保障につながる	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	長欠・不登校の原因は多岐にわたり、学校だけでの対応は難しくなっている中、支援の必要性が高まっている	心理や福祉の専門家、関係諸機関とも連携しながら、より効果的な支援を進める

平成29年度

事業名	特別支援教育充実事業	区分	一般会計
		款	教育費
		項	教育総務費
所属(部) (課)	学校教育部 教育政策室	目	教育委員会総務費
		総計	2-2-2

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
事業費	一般財源	8,289		臨時職員給	676
	国補助			報償金	7,500
	府補助			消耗品費	10
	市債			その他保険料	103
	その他				
	合計	8,289			

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	発達の課題から支援の必要な子どもへの適切な支援の充実をめざす	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育推進委員会を開催 ・特別支援教育コーディネーター研修を開催 	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園・小中学校での巡回発達相談の実施 ・小中学校への支援員の派遣 ・音楽療法の実施 ・通級指導教室の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育推進委員会(6・3月)に開催 ・特別支援教育コーディネーター研修を年4回開催(6・7・8・12月) ・音楽療法の実施(年8回) ・通級指導教室担当者会の実施(年10回) 	

内容		目標		
指標		総計	H32	
		KPI	H32	
	巡回相談、発達相談の申込みへの対応率	独自	H29	100%
	人権行政の視点	発達に課題のある児童・生徒への相談活動の充実を通し自立支援を図り、インクルーシブ教育の推進を図る		

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	支援教育の充実	
		障がいの有無に関わらず、「ともに学び、ともに育つ」ため、多様な学びの場における教育環境及び支援体制の充実を図るため	

平成29年度

事業名	学力向上推進事業	区分	一般会計
		款	教育費
		項	教育総務費
所属(部) (課)	学校教育部 教育政策室	目	教育委員会総務費
		総計	2-2-1

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
事業費	一般財源	9,670	報償金 消耗品費 その他保険料 事務業務委託料 使用料及び賃借料	1,440	
	国補助	1,020		220	
	府補助			9	
	市債			11,604	
	その他	3,227		644	
	合計	13,917			

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	平成19年度からの全国学力・学習状況調査結果の着実な結果向上に対して、一層の上昇を図る	児童・生徒のさらなる学力向上をめざし、学力向上ゼミ、大東まなび舎、大東ステップアップ学習、市共通到達度確認テスト等を実施	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上ゼミ(年間40回)開催 ・大東まなび舎(中学校8校)開催 ・大東ステップアップ学習の全校実施 ・市共通到達度確認テストの全校実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上ゼミ開催(年間40回土曜日) ・大東まなび舎(中学校8校)開催(放課後及び土曜日) ・大東ステップアップ学習の全校実施(4~3月) ・市共通到達度確認テストの全校実施(4月) 	

内容		目標	
指標	全国学力・学習状況調査の標準化得点(全国を100とした数値)	総計	H32 100以上
		KPI	H32
		独自	
人権行政の視点		総合的教育力の向上及び学習機会の拡充は、学習意欲の喚起及び「生きる力」の基礎に寄与している	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	大東市教育大綱における重点大綱1の達成	学習機会の拡充と自学自習力の向上、基礎的・基本的学力の定着

平成29年度

事業名	家庭教育支援事業	区分	一般会計
		款	教育費
		項	教育総務費
所属(部) (課)	学校教育部 教育政策室	目	教育委員会総務費
		総計	2-2-1

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
事業費	一般財源	5,365	非常勤職員報酬 報償金 費用弁償 普通旅費 消耗品費 食糧費 印刷製本費 その他保険料 使用料及び賃借料	3,596 7,890 49 20 366 100 88 37 263	
	国補助	5,364			
	府補助	1,680			
	市債				
	その他				
	合計	12,409			

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	家庭教育支援チーム、相談・訪問チームを設置。 家庭訪問、保護者へ家庭教育に関する情報・学びの場の提供、家庭教育支援の活動を実施する	小学1年生全家庭訪問の実施 「いくカフェ」の開催 サポーター(チーム員)の養成	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	①地域協議会、基幹会議等の開催 ②相談・訪問チーム員への研修・養成講座 ③「いくカフェ」の企画・開催 ④家庭訪問の実施 ⑤全体講演会の開催	①地域協議会、基幹会議等の開催 ②サポーター(チーム員)養成 ③全小学校区での「いくカフェ」開催(複数回) ④小学1年生全家庭訪問の複数回実施 ⑤全体講演会の開催	

内容		目標	
指標		総計	H32
		KPI	H32
	児童保護者と関わる(相談・訪問)件数	独自	H29
人権行政の視点		保護者が安心して子育てや家庭教育を行えるように支援することで子どもたちの健全な育成を推進する	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	①教育環境の充実 ②家庭教育力の向上	①全小学校区「いくカフェ」開催 ②小学1年生全家庭訪問の実施 ③サポーター(チーム員)養成

平成29年度

事業名	教育研究推進事業	区分	一般会計
		款	教育費
		項	教育総務費
所属(部) (課)	学校教育部 教育政策室	目	教育委員会総務費
		総計	2-2-1

予算額(千円)		予算内訳(千円)		
事業費	一般財源	3,059	報償金	2,433
	国補助		消耗品費	335
	府補助		手数料(費用)	130
	市債		使用料及び賃借料	161
	その他			
	合計	3,059		

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	「大東市教育ビジョン後期基本計画」に基づく、全市的な授業改善・授業研究の推進、及び学校教育活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ研修・実践研修、授業改善研修、各種研修、教育研究フォーラムの開催 ・教育委員会だより「えがお大東っ子」による発信 	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	<ul style="list-style-type: none"> ・初任者、10年経験者研修の開催 ・全校による授業改善研究会の開催 ・市教育研究フォーラムの開催 ・教育委員会だより「えがお大東っ子」発行 ・教育資料収集及び授業づくり冊子の発行 ・道徳教科化に向けた道徳充実研修実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・初任者、10年経験者研修の開催(5~9月) ・全校による授業改善研究会の開催(5~2月) ・市教育研究フォーラムの開催(8月) ・「えがお大東っ子」発行(年間5号) ・授業づくり冊子発行(11月) ・道徳充実研修及び校区ごと道徳充実推進(年2回) 	

内容		目標		
指標		総計	H32	
		KPI	H32	
	授業改善を伴う校内研修を実施 全校(小学校12校・中学校8校)	独自	H29	6回
	人権行政の視点	全校教職員が研究成果と課題を共有することで、児童生徒の豊かな教育活動に資する		

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	大東市教育ビジョン後期基本計画の着実な実施	確かな学力の向上に向けた教員の授業力及び指導力の向上・授業改善

平成29年度

事業名	学校支援事業	区分	一般会計
		款	教育費
		項	教育総務費
所属(部) (課)	学校教育部 教育政策室	目	教育委員会総務費
		総計	2-2-1

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
事業費	一般財源	12,946	非常勤職員報酬 報償金 その他保険料	3,336	9,250 360
	国補助				
	府補助				
	市債				
	その他				
	合計	12,946			

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	各小中学校において、地域等の外部人材の計画的な支援により、学校の教育力の活性化を図る	全体に同じ	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	各校からの申請及び活用計画に基づき、授業・クラブ・部活動、授業力向上や管理職への総合的な支援に、支援人材を派遣する	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校へ実施要項を通知(4月) ・各校で支援員の活用(5月～3月) ・実施状況の中間確認(10月) ・実施報告(3月) 	

内容		目標		
指標		総計	H32	
		KPI	H32	
	全国学力・学習状況調査において「地域の人材を外部講師として招聘した授業」の実施について肯定的回答の割合	独自	H29	小学校 80%・中学校 60%
	人権行政の視点	外部からの指導・支援を得ることで、地域と連携した教育の推進を図る		

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	<ul style="list-style-type: none"> ・学力や学校力の総合的向上 ・学校教育の活性化 	<ul style="list-style-type: none"> ・各校の教育課題と教育ニーズに応える

平成29年度

事業名	言語活動推進事業	区分	一般会計
		款	教育費
		項	教育総務費
所属(部) (課)	学校教育部 教育政策室	目	教育委員会総務費
		総計	2-2-1

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
事業費	一般財源	5,371	臨時職員給 報償金 消耗品費 手数料(費用) 使用料及び賃借料	5,056	
	国補助			50	
	府補助			80	
	市債			90	
	その他	5		100	
	合計	5,376			

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	言語環境の一層の充実を図り、「確かな学力」と「言語力の育成」を図るため、小中学校弁論大会開催と学校図書館司書を配置	弁論大会開催と学校図書館司書の配置	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	大東市小中学生弁論大会開催 読書活動の推進と充実	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館教育担当者研修会の実施(6月) ・弁論大会開催(11月) ・学校図書館教育担当者研修会の実施(1月) 	

内容		目標	
指標		総計	H32
	全児童生徒数に対する応募者数の割合	独自	H29 100%
	全国学力・学習状況調査において「読書は好き」という肯定的な回答の割合	独自	H30 80%以上
人権行政の視点		大東市小中学生弁論大会の取組を通して、友人や家族、地域社会など他者とのつながりを考える	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	学力向上の強化	読書習慣の定着、言語力の向上を図る

平成29年度

事業名	学力強化プロジェクト事業	区分	一般会計
		款	教育費
		項	教育総務費
所属(部) (課)	学校教育部 教育政策室	目	教育委員会総務費
		総計	2-2-1

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
事業費	一般財源	3,301	非常勤職員報酬 消耗品費 印刷製本費 使用料及び賃借料		3,160
	国補助				70
	府補助				50
	市債				21
	その他				
	合計	3,301			

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	小・中学校における学力強化を図るため、教育専門家・校長 OB 等を中心としたプロジェクトチームを編成し、集中的な実践を行う	プロジェクトチーム学校訪問指導、学力向上定期講座、授業力向上会議の開催	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトチーム学校訪問指導実施 学力向上定期講座(年間 8 回)実施 授業力向上会議(年間 8 回)実施 推進会議、基幹会議開催(年間 5 回) 	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトチーム学校訪問指導実施(年間 205 回) 学力向上定期講座(5/6/8/9/10/11/12/1 月)実施 授業力向上会議(6/7/8/9/10/11/12/1 月)実施 推進会議、基幹会議(4/6/10/1/2 月)実施 	

内容		目標	
指標	全国学力・学習状況調査の標準化得点(全国を 100 とした数値)	総計	H32 100 以上
		KPI	H32
		独自	
人権行政の視点		学校力及び授業力向上に係る支援により、児童生徒の学習意欲を喚起し「生きる力」の基礎に寄与する	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	大東市教育大綱における重点大綱1の達成	教員の授業力向上ひいては児童・生徒の学力向上を図り、全国学力・学習状況調査結果を向上させる

平成29年度

事業名	小中一貫教育モデル校プロジェクト事業	区分	一般会計
		款	教育費
		項	教育総務費
所属(部) (課)	学校教育部 教育政策室	目	教育委員会総務費
		総計	2-2-3

予算額(千円)		予算内訳(千円)		
事業費	一般財源	4,991	非常勤職員報酬	4,800
	国補助		費用弁償	20
	府補助		消耗品費	171
	市債			
	その他			
	合計	4,991		

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	小中一貫教育に関するモデル校区(北条中学校区)における実践、研究	<ul style="list-style-type: none"> ・推進コーディネーターの配置 ・推進会議、合同研修会の実施 	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	<ul style="list-style-type: none"> ・校区として「めざす子ども像」の作成 ・校区として9年間を系統立てたカリキュラムの作成 ・公開研究発表会の実施による情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・アクセスプラン(小学6年生による中学校登校等)の実施 ・小学校高学年における教科担任制の推進 	

内容		目標	
指標		総計	H32
		総計	H32
		独自	
	人権行政の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・9年間の系統立てた人権教育カリキュラムの作成 ・小中一貫した郷土教育の推進 	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	小中一貫教育における成果と課題の抽出	大東市にとって特色ある、最適な小中一貫教育の在り方を構築するため

平成29年度

事業名	総合的教育力活性化事業	区分	一般会計
		款	教育費
		項	中学校費
所属(部) (課)	学校教育部 教育政策室	目	教育指導費
		総計	2-2-3

事業費		予算額(千円)	予算内訳(千円)
一般財源	1,811	報償金	749
国補助		費用弁償	48
府補助	486	事務業務委託料	1,500
市債			
その他			
合計	2,297		

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、家庭、地域の連携強化 ・地域教育の活性化 ・教育コミュニティづくりの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・各中学校区地域教育協議会(すこやかネット)の活動支援 ・学校支援コーディネーターの活動支援 	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域教育活動に関する事業 ・学校の自己評価活動への協力 ・職場体験学習等への協力 	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域教育協議会における学校支援ボランティアの募集 ・各地域教育協議会事務局会議の開催 ・学校支援コーディネーター研修会の実施 ・総合的教育力活性化事業全体会の開催 	

内容		目標	
指標		総計	H32
		KPI	H32
	地域教育協議会主催行事への参加人数(延べ)	独自	H32
人権行政の視点		学校及び地域コミュニティの活性化を図り、世代を超えた豊かな人間関係の構築を推進する	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	・中学校区単位での市民会議との連動	・学校、家庭、地域の連携強化と、地域教育力のさらなる向上のため

平成29年度

事業名	進路選択支援事業	区分	一般会計
		款	教育費
		項	社会教育費
所属(部) (課)	学校教育部 教育政策室	目	人権教育費
		総計	2-2-2

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
事業費	一般財源	3,225	事務業務委託料	4,372	
	国補助				
	府補助	1,147			
	市債				
	その他				
	合計	4,372			

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	家庭事情や経済的な理由による進学断念や中退を防ぐため、奨学金の活用などの相談、学習機会の情報提供などを行う	相談箇所を2箇所設置し、相談事業を実施する	
	全体のスケジュール 特定非営利活動法人ほうじょう、特定非営利活動法人大東野崎人権協会へ委託 ・面談、電話、出張相談等対応 ・相談事業によりケース検討会議アウトリーチ等を実施	今年度のスケジュール 市民相談窓口 野崎人権文化センター 原則開館日 北条人権文化センター 原則土曜日を除く開館日	

内容		目標	
指標		総計	H32
		KPI	H32
		独自	
	人権行政の視点	本事業は家庭事情や経済的な理由等で進路選択の幅が制限されることのないように支援している	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	住民の自立支援および福祉の向上を図る	住民の進路選択における相談を受け、課題解決のための支援を図る

平成29年度

事業名	学校通学路整備事業	区分	一般会計
		款	教育費
		項	教育総務費
所属(部) (課)	学校教育部 学校管理課	目	教育委員会総務費
		総計	2-2-2

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
事業費	一般財源	5,215		事務業務委託料	5,215
	国補助				
	府補助				
	市債				
	その他				
	合計	5,215			

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	新通学路の交通誘導及び大東市内全小学校の通学路の点検を実施	<ul style="list-style-type: none"> ・四条北小学校新通学路の登下校時の交通誘導を実施 ・通学路の点検業務を実施 	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	<ul style="list-style-type: none"> ・新通学路の交通誘導を実施 ・通学路の点検業務を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・四条北小学校新通学路の登下校時の交通誘導を実施(4月～3月) ・通学路の点検業務を実施(2月) 	

内容		目標		
指標		総計	H32	
		KPI	H32	
	新たに指定された通学路の整備進捗率	独自	H32	100%を維持
	人権行政の視点	通学路を整備することにより、通学時の児童の安全を確保する		

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	学校の安全対策の強化	学校通学路について安全性向上に必要な対策を講じる

平成29年度

事業名	青少年健全育成事業(北条)	区分	一般会計
		款	教育費
		項	社会教育費
所属(部) (課)	学校教育部 教育政策室	目	青少年教育センター費
		総計	2-1-3

予算額(千円)		予算内訳(千円)		
事業費	一般財源	1,251	報償金	801
	国補助		消耗品費	157
	府補助		燃料費	5
	市債		賄材料費	100
	その他	108	使用料及び賃借料	232
	合計	1,359	庁用器具購入費	64

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	青少年の健全育成、人権教育の推進等を目的とした事業展開	学習、文化、スポーツおよび人権教育等各種事業の実施	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	・年間 学力向上ゼミ、ダンス・バドミントン・トランポリンなどのスポーツ教室 工作・習字・太鼓・音楽などの文化教室、自学自習教室、地域交流動イベント、機関誌発行、有償ボランティア事業、人権教室	・年間 各種事業企画案作成、講師選定、会場設定、材料購入等準備、調整作業事業実施、事業終了後の検証	

内容		目標	
指標		総計	H32
		KPI	H32
	事業への参加率	独自	H29 90%
	人権行政の視点	児童デイサービスや教室事業を通じて、他人との協力、思いやりの心や規範意識を育む	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	従来 of 事業内容の見直し及び新規事業の展開	青少年の健全育成及び人権意識の高揚を図る

平成29年度

事業名	青少年健全育成事業(野崎)	区分	一般会計
		款	教育費
		項	社会教育費
所属(部) (課)	学校教育部 教育政策室	目	青少年教育センター費
		総計	2-1-3

予算額(千円)		予算内訳(千円)		
事業費	一般財源	1,168	報償金	835
	国補助		費用弁償	2
	府補助		普通旅費	10
	市債		消耗品費	194
	その他	430	印刷製本費	91
	合計	1,604	事務業務委託料 使用料及び賃借料	339 133

全体の事業計画		今年度の事業計画	
青少年の健全育成、人権教育の推進等を目的とした事業展開		学習、文化、スポーツおよび人権教育等各種事業の実施	
全体のスケジュール		今年度のスケジュール	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・年間 学力向上ゼミ、書道教室、自然・社会見学会、有償ボランティア事業、工作教室、料理教室、地域交流活動、お祭り・イベント、機関誌発行 ・夏期 ふしぎ発見教室、キッズ・あーとクラブ、人権教室 	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・年間 各種事業企画案作成、講師選定、会場設定、材料購入等準備、調整作業 事業実施 事業終了後の検証

内容		目標	
指標		総計	H32
		KPI	H32
	事業への参加率	独自	H29 90%
	人権行政の視点	児童デイサービスや教室事業を通じて、他人との協力、思いやりの心や規範意識を育む	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	従来 of 事業内容の見直し及び新規事業の展開	青少年の健全育成及び人権意識の高揚を図る

平成29年度

事業名	放課後子ども教室推進事業	区分	一般会計
		款	教育費
		項	社会教育費
所属(部) (課)	生涯学習部 生涯学習課	目	社会教育総務費
		総計	2-1-3

事業費		予算額(千円)	予算内訳(千円)
一般財源	683	報償金 消耗品費	1,675 372
国補助			
府補助	1,364		
市債			
その他			
合計	2,047		

全体の事業計画		今年度の事業計画
内容	全小学校の放課後や土曜日に小学校の余裕教室を活用し、地域住民の参画を得ながら子どもの安心安全な居場所づくりを実施	市内 12 小学校で学校に関わる地域の実情に応じて、将棋教室・伝承遊び・学習教室等を実施。放課後児童クラブとの連携も図っていく
	<p>全体のスケジュール</p> <p>4 月：各小学校へ実施内容の意向調査実施。安全管理員、コーディネーター、実施内容が決定次第、各小学校で実施。毎月末に学校長より、活動報告</p> <p>2 月：運営委員会実施(次年度計画)</p>	<p>今年度のスケジュール</p> <p>市内 12 小学校で各校年 51 階以上実施(将棋教室、伝承遊び、読み聞かせ、英語教室、学習教室等)</p>

内容		目標	
指標		総計	H32
		KPI	H32
	教室開催日数回数	独自	H29 750 回
	人権行政の視点	子どもの人権が尊重され、安全・安心な場所で感性豊かに健やかに成長できる環境づくりを図る	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)
評価	目的	
	市内 12 小学校での事業の充実を図り、放課後児童クラブとの連携を図る	事業の充実に向けて、学校・放課後児童クラブとの情報共有など連携を行う

平成29年度

事業名	子どもの安全見守り事業	区分	一般会計
		款	教育費
		項	社会教育費
所属(部) (課)	生涯学習部 生涯学習課	目	青少年対策費
		総計	2-2-2

予算額(千円)		予算内訳(千円)		
事業費	一般財源	936	消耗品費 食糧費	886 50
	国補助			
	府補助			
	市債			
	その他			
	合計	936		

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	子どもたちの登下校時に通学路を中心に、保護者・地域住民・学校が見守り活動を行うことで、不審者等から子どもたちを守る	見守り活動に必要な腕章、ベスト、横断旗などの物品の支給を行う。また、四條畷警察署職員を講師に招いて見守り活動の研修を随時実施する	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	見守り隊の参加人数の意向調査 見守り活動に必要な物品の意向調査 各小学校へ物品の支給 見守り隊への研修実施	見守り活動の視察 見守り活動に必要な物品の支給 見守り隊の研修実施 見守り隊への感謝状の贈呈	

内容		目標	
指標		総計	H32
		KPI	H32
	見守り活動への参加人数	独自	H29 4,200人
	人権行政の視点	青少年の健全育成のために、日常の声掛けなどを通し、豊かな心を育て、平和なまちづくりを目指す	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	地域住民の参画により、地域全体の安全な環境づくりに効果がある	子どもたちの登下校の安全確保のため、見守り活動を支援する

平成29年度

事業名	文化財保護整備事業	区分	一般会計
		款	教育費
		項	社会教育費
所属(部) (課)	生涯学習部 生涯学習課	目	文化財保護費
		総計	4-2-1

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
事業費	一般財源	2,458	印刷製本費 事務業務委託料	400 2,058	
	国補助				
	府補助				
	市債				
	その他				
	合計	2,458			

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	多様な方法で地域文化資源の保存と活用を図り、文化財行政を推進していく	<ul style="list-style-type: none"> ・市史まんが古代編の刊行 ・平野屋新田会所跡地保存と活用の推進 ・北新町遺跡発掘調査報告書の刊行 	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	【市史まんが】 ・古代編刊行(H29) ・中世編シナリオ・ネーム作成(H30) ・中世編刊行(H31) 【平野屋新田会所】 ・整備活用案(H29)・整備計画(H30) 【北新町遺跡発掘調査報告書】 ・刊行(H29)	【市史まんが】 ・委託発注(4月) ・刊行(9月) 【平野屋新田会所】 ・平野屋新田会所サポーター活動支援(年間) ・整備活用案作成に係る調整(年間) 【北新町遺跡発掘調査報告書】 ・刊行(3月)	

内容		目標	
指標		総計	H32
		KPI	H32
	市史まんが化の進捗率	独自	H33 100%
	人権行政の視点	まちの歴史を知ることによって愛着が生まれ、よりよいまちづくりに参画する意思の向上促進に寄与する	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	本市の歴史を知ることによって、市民に愛着と誇りをもってもらうことで、定住化を促進する	身近にある文化財を守り、後世に伝えていく

平成29年度

事業名	飯盛城跡保存整備活用事業	区分	一般会計
		款	教育費
		項	社会教育費
所属(部) (課)	生涯学習部	目	文化財保護費
	生涯学習課	総計	4-2-1

予算額(千円)		予算内訳(千円)		
事業費	一般財源	5,977	臨時職員給	1,107
	国補助	5,270	報償金	414
	府補助		費用弁償	8
	市債		普通旅費	118
	その他	120	特別旅費	59
	合計	11,367	消耗品費	325
		印刷製本費	200	
		通信運搬費(費用)	20	
		事務業務委託料	9,116	

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	飯盛城跡の国史跡指定と指定後の保存と活用、整備を行い、本市の歴史的シンボルや観光資源として活用を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・史跡の範囲や構造の確認調査、史料整理の実施 ・現地見学会、報告会の開催 ・指定について地権者への説明と同意の取得 	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	<ul style="list-style-type: none"> ・確認調査・文献史料調査・航空測量調査(H28~30) ・報告書作成・史跡指定申請(H31~32) ・史跡指定(H33) ・保存管理計画・公有化・整備(H33以降) 	<ul style="list-style-type: none"> ・石垣・遺構の確認調査(10月~2月) ・専門委員会の開催(6月~8月) ・シンポジウムの開催(10月) ・現地説明会・報告会(確認調査期間中) ・古民家調査と併せて文献史料の調査(年間) ・地権者等への説明(年間) 	

内容		目標	
指標		総計	H32
		KPI	H32
	飯盛城跡の国史跡指定	独自	H33
	人権行政の視点		100%
		まちの文化・歴史に触れ、愛着を持つことで、支え合うまちづくりに参画する意思の向上促進に寄与する	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	国史跡指定と整備に向け、学術的な調査を進め、成果を広く周知することで、市民の愛着を高め、定住促進に繋げる	身近にある文化財を守り、後世に伝えていく

平成29年度

事業名	市民文化自主事業	区分	一般会計
		款	教育費
		項	社会教育費
所属(部) (課)	生涯学習部	目	総合文化センター費
	生涯学習課	総計	4-2-2

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
	一般財源	8,000		その他団体補助金	8,000
	国補助				
	府補助				
	市債				
	その他				
	合計	8,000			

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	市が主催する自主事業として、優れた舞台芸術を市民にとって最も身近な公共ホールであるサーティホールで開催する	市民団体の代表からなる実行委員会で、事業内容や事業計画について検討し、事業を実施する	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	年間 4~5 回の公演を開催する	<ul style="list-style-type: none"> ・関西フィルハーモニー管弦楽団コンサート ・わらび座:ミュージカル「ブッダ」公演 ・0歳から楽しむファミリーコンサート ・ワインコンサート 	

内容		目標	
指標		総計	H32
		KPI	H32
	公演入場者数	独自	H29 3,500人
	人権行政の視点	芸術文化を通じて学びと交流を促し、相互理解と共生のまちづくりに寄与する	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	多様な文化に触れる機会を提供し、芸術文化を通じて学びと交流を深める	優れた舞台芸術を鑑賞する機会を市民に提供する

平成29年度

事業名	市民文化振興事業	区分	一般会計
		款	教育費
		項	社会教育費
所属(部) (課)	生涯学習部	目	総合文化センター費
	生涯学習課	総計	4-2-2

事業費		予算額(千円)	予算内訳(千円)	
一般財源	3,302	事務事業委託料	3,302	
国補助				
府補助				
市債				
その他				
合計	3,302			

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	市民が広く参加する大東市民文化祭を総合文化センターで行う。舞台の部、展示の部、子ども会関係の展示がある	<ul style="list-style-type: none"> ・舞台:舞踊、詩吟、謡曲、ダンス、コーラス他 ・展示:書、絵画、生花、写真、俳句、手工芸、子ども会フェスティバルのポスター他 	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	第62回大東市民文化祭 開催日:11月2日(木)~5日(日) 会場:大東市立総合文化センター	6月広報で出展、出演募集 参加団体からなる市民文化祭実行委員会で実施に向けて、内容等検討する	

内容		目標	
指標		総計	H32
		KPI	H32
	参加者数	独自	H29 48,000人
	人権行政の視点	芸術文化を通じて学びと交流を促し、相互理解と共生のまちづくりに寄与する	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術の振興 ・市民の生涯学習の推進 	日頃生涯学習活動を行っている人たちの成果発表の場や団体交流の場を提供する	

平成29年度

事業名	市民体育大会委託事業	区分	一般会計
		款	教育費
		項	保健体育費
所属(部) (課)	生涯学習部 スポーツ振興課	目	保健体育総務費
		総計	2-1-2

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
	一般財源	1,933		賞賜金	65
	国補助			事務業務委託料	1,868
	府補助				
	市債				
	その他				
	合計	1,933			

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	市民の健康増進とスポーツの普及・発展のため、体育協会に委託のもと、17競技の大会および総合開会式を開催	春の部 11種目と秋の部 8種目の競技大会を市民体育館等で開催	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	【競技種目】17競技 卓球・バスケットボール(春・秋)、ソフトテニス、軟式野球、ソフトボール、相撲、バドミントン、グラウンド・ゴルフ、ソフトバレーボール、カローリング、バレーボール、空手道、剣道、柔道、山岳、テニス、ゲートボール	<ul style="list-style-type: none"> ・「春の部」募集(4月) ・総合開会式(5月) ・「春の部」開催(5月～7月) ・「秋の部」募集(9月) ・「秋の部」開催(10月～12月) 	

内容		目標	
指標		総計	H32
		KPI	H32
	参加者数	独自	H29 5,000人
	人権行政の視点	スポーツを振興することで、健康維持および地域コミュニティの形成を目指す	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	<ul style="list-style-type: none"> ・市民スポーツの振興 ・市民の健康増進と生涯スポーツの推進 	競技団体に加盟していない市民を取り込み、スポーツ人口の拡大および競技力の向上を図る

平成29年度

事業名	スポーツ団体育成事業	区分	一般会計
		款	教育費
		項	保健体育費
所属(部) (課)	生涯学習部 スポーツ振興課	目	保健体育総務費
		総計	2-1-2

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
事業費	一般財源	1,512		事務業務委託料	1,512
	国補助				
	府補助				
	市債				
	その他				
	合計	1,512			

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	体育協会加盟の17団体が年間を通じて、 団体毎に「スポーツデー」として、競技会、講習会、指導教室等を開催	「スポーツデー」として、競技会、講習会、指導教室等から選択して開催	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	・教室および講習会等のスポーツ事業、スポーツ団体育成事業および指導者養成事業(H29.4月～H30.3月)	・各競技連盟開催内容検討(4月) ・「スポーツデー」開催(H29.4月～H30.3月) ・実績報告書提出(終了後)	

内容		目標		
指標		総計	H32	
		KPI	H32	
	参加者数	独自	H29	3,000人
	人権行政の視点	スポーツを通じた市民交流の中で、市民が市民を認め、お互いを尊重できる意識の向上を図る		

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的 ・市民スポーツの振興 ・各競技連盟の育成	初心者から競技者までを対象としたスポーツ教室や講習会等を行い、技術向上や指導者養成や参加者同士の交流等スポーツの普及を図る	

平成29年度

事業名	大東市ニュースポーツフェスティバル事業	区分	一般会計
		款	教育費
		項	保健体育費
所属(部) (課)	生涯学習部 スポーツ振興課	目	保健体育総務費
		総計	2-1-2

事業費		予算額(千円)		予算内訳(千円)	
事業費	一般財源	118	事務業務委託料		470
	国補助	235			
	府補助	117			
	市債				
	その他				
	合計	470			

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	障害者(児)スポーツのデモンストレーション、ニュースポーツ体験の2部構成で開催	障害者(児)スポーツのデモンストレーションの選定と開催、ニュースポーツの体験を開催	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	【事業開催予定日】 日時:平成30年3月10日(土) 13:00~16:00 場所:大東市立市民体育館	・デモンストレーションの選定(8月) ・事業の開催(3月) ・実績報告書提出(終了後)	

内容		目標	
指標		総計	H32
		KPI	H32
	参加者数	独自	H29 150人
	人権行政の視点	障害者と健常者が共にスポーツを楽しむ機会を提供することで、互いの人権への意識を向上していく	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	・障害者(児)スポーツの普及 ・生涯スポーツの推進	体力に応じて楽しめるニュースポーツの紹介および障害者(児)の社会参加と交流する機会の提供とノーマライゼーションへの理解を図る

平成29年度

事業名	市民マラソン大会事業	区分	一般会計
		款	教育費
		項	保健体育費
所属(部) (課)	生涯学習部 スポーツ振興課	目	保健体育総務費
		総計	2-1-2

予算額(千円)		予算内訳(千円)		
事業費	一般財源	896	報償金	80
	国補助		賞賜金	28
	府補助		消耗品費	10
	市債		事務業務委託料	985
	その他	225	使用料及び賃借料	18
	合計	1,121		

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	小学生から高齢者まであらゆる年代の市民が参加できるよう年齢・距離別に15種目の競技大会を実施する	・第42回大東市民マラソン大会を開催	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	【事業開催予定日】 日時:平成29年11月19日(日) 9:30~11:00 雨天予備日:平成29年12月3日(日) 場所:大阪府営深北緑地	・深北緑地使用許可申請書提出(5月) ・委託業者契約締結(7月) ・広報活動開始(9月) ・参加者募集(10月) ・大会開催(11月) ・委託業者変更契約締結(12月)	

内容		目標	
指標		総計	H32
		KPI	H32
	参加者数	独自	H29 750人
	人権行政の視点	地域の方とふれあうことの大切さを知り、スポーツを通じてお互いの人権を尊重しあう気持ちを育む	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	競技力の向上と市民の健康保持・増進を目指す	幅広い年齢層の市民が気軽に参加することができるよう事業の推進を図る

平成29年度

事業名	体育施設総合整備事業	区分	一般会計
		款	教育費
		項	保健体育費
所属(部) (課)	生涯学習部 スポーツ振興課	目	体育施設費
		総計	2-1-2

予算額(千円)		予算内訳(千円)	
事業費	一般財源		手数料(費用) 22
	国補助		工事監理委託料 707
	府補助		新設改良工事請負費(単) 152,323
	市債	114,200	
	その他	38,852	
	合計	153,052	

全体の事業計画		今年度の事業計画	
内容	テニスコートの利用増によるコートの増設、照明灯改修・フェンス設置等による大東公園の防災機能充実と利用者の安全性確保	<ul style="list-style-type: none"> ・市立テニスコート管理棟新設工事 ・市立テニスコート管理棟新設 電気設備工事 ・市立テニスコート増設工事 	
	全体のスケジュール	今年度のスケジュール	
	管理棟新設工事(H29) 管理棟新設 電気設備工事(H29) テニスコート増設工事(H29)	<ul style="list-style-type: none"> ・管理棟新設工事(7月) ・管理棟新設工事電気設備工事(7月) ・テニスコート増設工事(9月) 	

内容		目標	
指標		総計	H32
		KPI	H32
	テニスコートの整備	独自	H30 100%
	人権行政の視点	スポーツ振興することで、健康維持と地域コミュニティを形成する。防災拠点として市民の生命を守る	

施策レベル(マクロ的な視点)		事業レベル(ミクロ的な視点)	
評価	目的	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の健康保持・増進と競技力向上 ・利用者の安全性確保と防災機能の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・テニスコート利用者の増加に対応するとともに安全かつ快適に施設利用できるように整備する ・地域の防災拠点として整備を進める